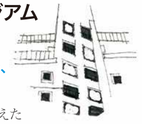


お問い合わせ先

〒812-0026
福岡市博多区上川端町9-35
リノベーションミュージアム冷泉荘
A12号 冷泉荘事務局
（11:00〜19:00, 火曜定休）
TEL **092-985-4562**
mail **yj@tenjinpark.com**
https://www.reizensou.com/
【SNS】
X（旧Twitter）,
Instagram,
Facebook
@reizensou
冷泉荘YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/@reizensou_hakata

リノベーションミュージアム冷泉荘とは・・・



ビルストック文化の学び合い、そして発信の場

博多区上川端町で築68年を迎えた昭和のレトロビル、リノベーションミュージアム冷泉荘。「福岡の古い建物を大切に活かす（ビルストック活用）」を基本理念に、「ひと」「まち」「文化」を大切に思う人たちが集まっています。2011年1月には耐震補強工事を行い、2012年、第25回福岡市都市景観賞 活動部門にて部門賞受賞。2024年、国登録有形文化財（建造物）に登録。100年続く活動を目指して「持続的」で「環境型」の建物として文化発信を行なっています。

冷泉荘 交通アクセス

地下鉄空港線中洲川端駅下車・5番出口から上川端商店街を通り、キャナルシティ博多方向へ。「博多ラーメンはかたや」と「うどんウエスト」の間の道を冷泉公園側に曲がり、博多消防署冷泉出張所手前の小道を入ってすぐ。（＊駐車場なし）



表紙の写真



A31号　ギャラリー港民館

ギャラリー港民館は2019年5月に立ち上げられ、アーティストランスペースとして、九州と韓国の芸術家を中心に、多様なイベントを開催してきました。展覧会以外トークイベント、音楽ライブ、国内外のアートスペースとの交流プログラムなど活動を行っています。実験的で問題意識を明確にしているアーティストの発表の場として運営しています。お問合せは
www.instagram.com/gallery_kominkan

墨と遊び、書をアートを愉しむ「墨遊 II」三人展　春麗・景雪・幽芳



＜参加作家＞
春麗
景雪
幽芳

日時：10月1日（木）〜10月6日（火）
11:00〜19:00
（最終日17:00まで）
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
入場料：無料
【問】090-6631-5157（小森幽芳）

第29回 00展



＜出展作家＞
石川裕美子／上戸マリー／
上野優子／川村知子／
川上道子／桑田温子／
クロネコDay's／たまき／
鍋島哲治／古川康弘／
宮脇由美／安野葉月

日時：10月13日（火）〜10月18日（日）
12:00〜19:00（最終日18:00まで）
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー
入場料：無料

BLACK CAT STREET 11
Let's meet at the tree on that hill
〜あの丘の木の下で待ち合わせましょう〜



黒猫の作品展、会期中に自由参加型の公開制作をおこないます！
皆さまのお越しを、こころよりお待ちしてます！

日時：10月27日（火）〜11月1日（日）
12:00〜19:00（最終日17:00まで）
場所：冷泉荘ギャラリー（B棟1階 左側／B14号）
【Instagram】@kuronekodays

5つのかぎ



廊下の先に並ぶ、5つの扉。鍵の数だけ、世界がある。5人の作家による、架空のアパートメントを舞台にした展示です。

＜出展作家＞
202　**ぱやしり**（Instagram @bayasiri_pnd）
101　**ジュビドゥバ**（https://lit.link/shubidoba）
304　**ののめなな**（X @nonamenana_404）
102　**usame**（X @ooooteaooooo）
303　**なぎUMA**（https://lit.link/nagiuma）

日時：10月9日（金）〜10月11日（日）
11:00〜19:00（最終日17:00まで）
場所：B棟1階 冷泉荘ギャラリー

Hiroki Hirayama作品展「ひかり」



ひかり：心に希望や光明などを起こさせる物事
人はみんな、それぞれ違うひかり を宿しています。
誰かを包むひかり
前へ進むひかり　静かに祈るひかり
作品を眺めながらあなたの中にある ひかり と出会ってみませんか

日時：10月22日（木）〜10月25日（日）
11:00〜19:00（初日13:00〜、最終日16:00まで）
場所：冷泉荘ギャラリー（B棟1階 左側／B14号）
【Instagram】@hiroki_hirayama358

第二回 きんつぎ・うるし・あそび 十四人展



漆を使った技法で修復し、金、銀、錫、螺鈿や蒔絵で装飾する。作品の中に新しい美を見つける。心を満たしてあそぶ、14人展
【出展者】
青柳舞　石橋理恵子　太田雅子
坂本由紀　柴田恵子　柴田寛
桶谷房枝　河島沙代　古賀洋市
橋詰順子　浜口裕美　深川美香
YUKO LEE　和田恵利子

日時：10月30日（金）〜11月1日（日）
10:00〜19:00（最終日15:00まで）
場所：冷泉荘ギャラリー（B棟1階 右側／B15号）

冷泉荘入居者紹介

5F
- A51 TETRA + GRAPH テトラグラフ写真室
- A53 nano Architects 信濃設計研究所
- B54 当初部屋
- B55 ドネルモ

4F
- A41 田中勇気博多人形工房
- A42 TETRA + GRAPH テトラグラフ図書室
- A43 マサカノ［企画・制作会社］
- B44 tripinsight［外国人向け旅行会社］
- B45 ドネルモ［NPO法人 ドネルモ］

3F
- A31 gallery kominkan 港民館 ギャラリー港民館
- A32 美容室ヒュッテ
- A33 GAKUEN SALON 楽研サロン［限定Bar&Office］
- B34 OLDUVAI TORQUE［アニメ制作］
- B35 入居募集中

2F
- A21 YOU MAKE IT 一般社団法人YOU MAKE IT
- A22 ［韓国語教室］ソニ
- A23 食道よこちょう 屋台的空間で和食を楽しめるお店
- B24 shoe lab noppo［注文靴・靴作り教室］
- B25 まちづくり屋さん［地域政策企画・サポート］

A10 ネコチクラ［アートギャラリー］
A11 RILL BAGEL［ベーグル専門店］
A12 リノベーションギャラリー 冷泉荘事務局
A13 そらいろのたね［こどもアートアトリエ］
B14,15 2コ1 多目的スペース
B14-2 冷泉荘ギャラリー
B15-2 よりあい読書室

A101 iroiro・群青

地下へ

ご入居・レンタルスペースに関するお問い合わせ
冷泉荘事務局
092-985-4562
お気軽にお問い合わせください。

冷泉荘ギャラリー、2コ1多目的スペース、よりあい読書室は、
利用内容に応じてサイズを変えられるレンタルスペース。
料金は1日4,400円〜11,000円（税込）。
展示などで7日間のご利用には、お得な割引プランもございます。

サテライト冷泉荘 蝶和ビル（博多区店屋町4-8）
205 ARTAS GALLERY アートギャラリー
303 博多・町なかやきもん 炎陶房 陶芸教室
駅前1丁目ビル［3階］（博多駅前1-7-9）
辻ノ堂_ラウンジ スタジオオフィス

column REIZENSOU 10月

ドネルモ伝 108

アーセナルは「ロマン」である④ 篇
話が終わらないので年表にした

開幕して2か月‥若干年表にしたことを後悔してますが、まだまだ続きます、アルテタとアーセナルの15年史!

14/15｜ アレクシス・サンチェス加入（この約3年半後、ピアノを弾いてマンUへ去る）。レンタル先から緊急召還されたコクランがまさかの覚醒。FA杯連覇。リーグ3位。アウェー・マンC戦でのカソルラ無双は今も目に焼き付いている。

15/16｜ ヴェンゲル「We have a strong squad（我々には強力なスカッドがある）」再発動で、夏の補強はGKチェフのみ。首位レスターとの直接対決では、後半アディショナルタイムに約10か月ぶりに復帰したウェルベックがエジルのFKに頭で合わせて劇的逆転。「これは優勝するぞ」と誰もが思ったが、レスターが奇跡の優勝。アーセナルは2位。そしてシーズン終了後、アルテタが現役引退。最終戦にアルテタ途中出場し、ゴール。めちゃ泣いてた。

16/17｜ アルテタ、マンCのコーチへ。CLではバイエルンに2戦合計2-10。サポーター有志による「Wenger Out（ヴェンゲル出ていけ!）」の飛行機まで飛び、リーグ5位。ヴェンゲル就任以来初めてトップ4を逃し、20シーズン連続で続いたCL出場も途切れる。ヴェンゲルが体現するアーセナルのプレイが好きなのか、ヴェンゲルがいないアーセナルでも応援し続けるのかを延々と悩み、それでもアーセナルを応援すると決断する。

17/18｜ 1996年から続いた22年間のヴェンゲル政権が終了。リーグ6位。心の整理はできていたものの、すごく、すごく寂しかった。

18/19｜ アーセナル以外では名将、ウナイ・エメリ体制スタート。公式戦22戦無敗もリーグ5位。いつしか試合を観ても「JOY」を感じなくなっていた。

【今月の担当】宮田智史
（NPO法人ドネルモ／事務局長）

冷泉荘プロデュース スペースRデザインのレトロビルこばなし





【開催レポート】
山王マンション602号リノベーション完成見学会&ビンテージビルツアー

8月29日（土）、山王マンションでは2年ぶりとなるリノベーション部屋、602号室の完成見学会を開催しました。当日は厳しい暑さの中、多くの皆さまにご来場いただきました。

今回のお部屋のコンセプトは「部屋未満」。2003年に福岡初の賃貸リノベーションに取り組んでから23年が経ち、ビンテージビルとしての風格が深まる山王マンションにおいて、今の暮らしに寄り添う新たな試みです。当日はデザイン・工事を担当した仲條より、デザインの背景や経緯をご説明しました。

大きなポイントは、既存の間取りを活かした間仕切り（造作）です。和室だった2部屋を造作でフレキシブルに仕切れるようにしました。白基調の明るい空間に、キッチンや造作の深みのある色合いがアクセントとなり全体を引き締めます。住む人や用途で自由に組み替えられ、使い方は無限大。「どう使おうか」と想像を膨らませて楽しんでいただけたのではないでしょうか。

また、同時開催の「ビンテージビルツアー」では、築58年を迎えた建物の歴史や歩みを振り返りました。性能アップ工事を行ったエレベーターや、過去の部屋を紹介するリノベーションミュージアム掲示板（昔の集合ポストを活用）など、館内を巡りました。

山王マンションのこれからが一層楽しみになる見学会となりました。ご来場いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

スペースRデザイン　井上

未来のビンテージビルを創る。space R design

ネコチクラ ネットワーク

思考する・想像する楽しさをネコチクラで

はじめまして。6月から「ネコチクラ」のスタッフとして働いている小川です。今回、初めてコラムを担当させていただきます！

まずはじめに私は作家ではありません。"つくる人"ではない私がなぜギャラリースタッフになったのか、今回はその理由をお話しさせてください。

私は幼い頃から「この作品を創った人はどんなことを考えていたのだろう？」と想像するのが好きでした。作品といっても、絵画や立体作品だけではありません。絵本や小説、漫画など、誰かの想いから生まれたものに触れ、思考を巡らせる時間が好きだったのです。

ネコチクラには、様々な作家さんの作品が集まっています。一つひとつの作品の奥には、作家さんの想いや背景、アイデアの種がぎゅっと詰まっています。「この作品にはどんなストーリーがあるんだろう？」幼い頃に抱いていたそのワクワク感を今度はギャラリースタッフとして、お越しくださる皆さまと共有したい。そう思ったことが、私がここで働き始めた理由です。

ギャラリーは単に作品を買うだけの場所ではありません。作品を通して作家さんの思考やストーリーに触れ、ご自身の心と対話できる特別な空間です。「なんとなく惹かれるな」「この色を選んだ理由は何だろう？」「どんな背景からこの形が生まれたのかな？」ぜひ、そんな風に自由な想像を膨らませてみてください。鑑賞に特別な知識は必要ありません。ネコチクラで、あなただけの「問い」や「ときめき」を見つけていただけたら嬉しいです。

初めてのコラムを最後まで読んでいただき、ありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします！

ネコチクラ スタッフ　小川



サンダーレンズ
Thunder Lens*

最近、日光の紫外線で感光させるサイアノタイプで作品を作りたいと思うようになって、少しずつ薬品や道具を集めています。とうの昔にフィルムの現像と暗室ワークを手放していたのですが、紙に感光させる楽しさというのは一度体験してみると手放せなくなるものですね。水に沈めた紙から画像をクリアに浮かび上がらせる時間はなんともいえない味わいがあります。フィルム現像と暗室作業をとことん楽しんだ過去の自分とも対話ができる時間。シンプルなようで奥が深いサイアノタイプによる作品がまとまったらどこかで展示したいなと思っています。体験してみたい方お声かけください。

photo&text／雨宮康子

ズームイン靴！？



ロマン

教室に来られている人が、British Made（英国製）と書いてある靴底について、ロマンがありますね、と言いました。機能性は他の選択肢に比べて特別優位なことはないはずなのに、異国の情緒か、確かに惹かれるものがあったりします。歳をとってしまったからなのか、気づかぬうちにタイパ、コスパの波に飲まれてしまっているせいなのか、すっかり忘れていたようです、ロマン。

その後、わたしはいったい何にロマンを感じていたのかを思い出そうと頭をひねっておりました。もともと異国の物である靴にロマンを感じていたのだろうか。革の魅力だろうか。あまりピンとこない。それよりも、教室で作られる靴に残っている作り手の足跡。生まれる前から建っている冷泉荘の、その昔を勝手に想像できる余白。プロシューマー（自分で使うものを自分で作る人）が増えた世の中。この辺のほうがしっくり来る。と、考えてみるとタイパ、コスパの逆を行くところにロマンを感じていたように思います。しかし非効率を許さない消費社会は恐ろしいことに、それすらも消費の対象として吸収してしまうのです。例えば、「ばえる」のように、すべてはコンテンツとなり、わたしのロマンはそうなるとどこかへ行ってしまうようです。

これは実に困ったことです。踊る心を取り戻すべく、靴づくり10数年のお二人と、1年目のお二人の途中経過を眺めて（写真）、なにかヒントがあるだろうかと思案しているのでした。

shoe lab noppo 黒木淳



酒民党員でもある、まちづくり屋さんに聞く！

まち in 酒話

神さまでお酒を

秋になりましたね。今回は神さまの話を。10月は別名「神無月（かんなづき）」と言います。これは10月に全国の八百万（やおよろず）の神さまが島根県出雲市の出雲大社に集まり会議をするため各地の神さまが出かけてしまうので、神が居ない月で神無月となりました。神さまが集まる出雲の国では神在月（かみありづき）となります。

そして神さまたちは会議で何を話し合っているのでしょうか。この会議は神議（かむはかり）と呼ばれます。メインは人の運命や縁についてです。誰と誰を結婚させようかなどを決めています。出雲大社は縁結びの総本山でもあります。また酒の出来具合までも議題になります。酒の出来は毎年最上と決めて欲しいものですね。

ところで神無月という事は各地には神さまは居ないのでしょうか。実は留守神様といって留守番をする神さまがいるのです恵比須神（えびすしん）や金毘羅神（こんぴらしん）、道祖神（どうそじん）といった神さまです。留守神様を祭る恵比須講を10月に行う地方もあります。神無月でも私たちの周りには神さまがおられるのです。

10月は日本酒の冷卸し（ひやおろし）が出荷されるシーズンです。酒処の灘では冷卸しを秋晴れと呼びます。素敵な名前ですね。新酒のフレッシュさを留守神様と楽しんではいかがでしょうか。